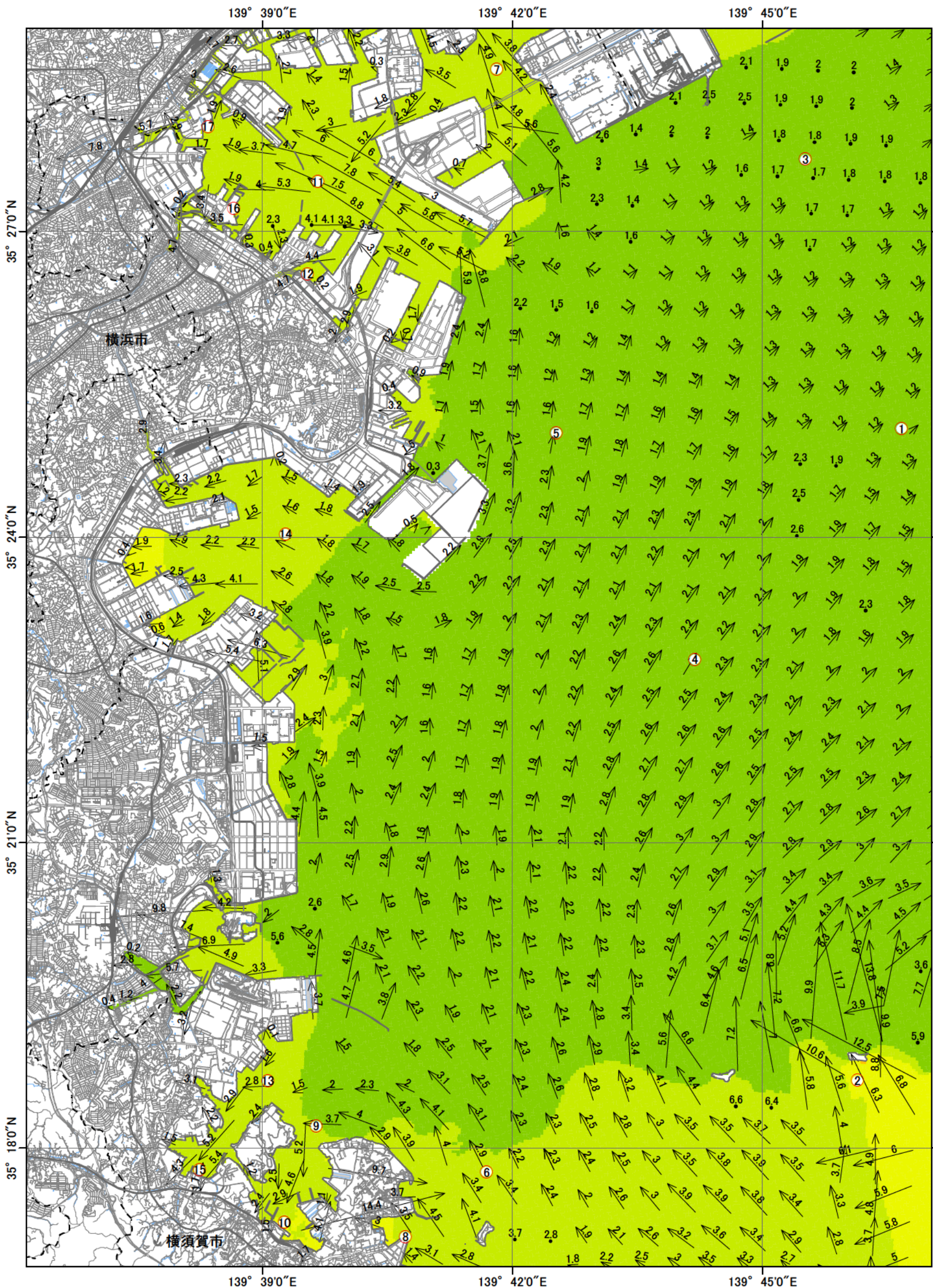




座標系:メルカトル図法
測地系:世界測地系(WGS84)

計算条件: 最高水面(零位)
隆起量: 平均0.37m(-0.23m ~ 0.72m)
Zo: 1.00m~1.15m
備考: 本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。



凡例

- 最大水位上昇
- 5~最大5.1m
 - 3~5m
 - 2~3m
 - 0.5~2m
 - 0.5未満

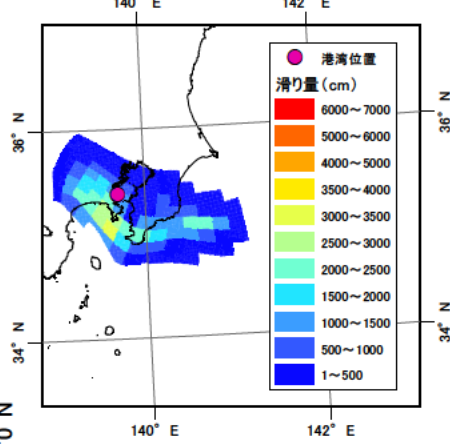
No. 経時変化図出力点
(図上の位置における津波の挙動を別図の経時変化図で示す。)

進入時最大流 [knot]

- 6 knot
- 4 knot
- 2 knot

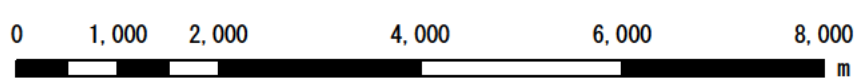
- 当海域は到達時間が複雑なため等時線は描画しない。到達時間については、経時変化図及びアニメーションを参照されたい。
- 防護施設は、津波の越流と同時に破壊されるものとして計算している。
- 流向変化が激しく、進入・引潮等の判別が困難な海域では、流速のみを表示した。

断面モデル



元禄関東地震
モーメントマグニチュード Mw 8.5

本断面モデルは、内閣府の「首都直下地震モデル検討会(平成25年12月19日発表)」により公表されたものである。



○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム(ArcGIS 10対応)」を使用した。
○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。
・海上保安庁が保有する水深データ
・基盤地図情報5mメッシュ(標高)・10mメッシュ(標高)、及び基盤地図情報(国土地理院発行 国土地理院長承認 承認番号 平31情使、第30号 平成31年4月5日)